

平成22年3月16日

# GPA制度の導入について

---

21年度GP選定 報告会

報告 高木 直人

# GPAを導入する前に

---

- GPAを導入することは出席管理問題が重要
    - ・授業に参加してこそそのGPAの効果
  - 平成22年度より出席管理システムの導入
    - ・出席に関するデータが毎日自動更新
    - ・学生の出席状況をリアルタイムで確認
    - ・欠席の多い学生の早期指導が可能
-

# GPAを導入する意義

---

- GPA (grade point average) とは、米国の大学で一般的に利用されている成績評価方法
  - 学生一人ひとりの履修科目の成績の平均を数値で示す
  - GPAは、アメリカの大学で広く採用され、世界に通用する成績評価システム
-

# GPAを導入する時期

---

- GPAを、平22年度入学生(1年生)を対象に、4月から試行的に導入
  - 平成22年度1年生を対象に、後期よりGPA成績評価システムを利用し、学生指導を試行的に実施
  - 本格的には、平成23年度より実施
-

# 本学で利用するGPA

---

- GPAには基本的な5段階評価を導入
  - 現状の単位認定は、優(8点以上)、良(7点)、可(6点)、不可(5点以下)の4段階
  - 各評価に対してGPは、4(9点以上)、3(8点)、2(7点)、1(6点)、0(5点以下)とする
-

# 本学で利用するGPA

---

判定	10点満点との対応	単位認定	GP
合格 (単位認定)	9点以上	優	4
	8点	優	3
	7点	良	2
	6点	可	1
不合格	5点以下 *受験不可と履修辞退含む	不可	0

---

# 成績評価とGPA

---

□ GPAは、単位当たりの成績の平均値で、一般的には以下の計算式によって算出

□ 学期GPA

$4 \times 9$ 点以上の修得単位数 +  $3 \times 8$ 点の修得単位数  
+  $2 \times 7$ 点の修得単位数 +  $1 \times 6$ 点の修得単位数

---

総履修登録単位数(「不可」の単位数と放棄科目の単位数を含む)

---

# 成績評価とGPA

	単位	点数	評価	修得単位	G P
日本文化 I	2	8	優	2	6
基礎英語 I	2	9	優	2	8
英会話 I	2	8	優	2	6
国語表現	2	7	良	2	4
文章作成	2	8	優	2	6
ワードプロセッサ I	1	9	優	1	4
ビジネスリテラシー演習	1	8	優	1	3
ビジネスマナー I	2	8	優	2	6
会計学 I	2	9	優	2	8
簿記実務 I	2	9	優	2	8
情報処理論	2	8	優	2	6
基礎ゼミナール I	1	9	優	1	4
合計	21	100		21	69

	単位	点数	評価	修得単位	G P
日本文化 I	2	5	不可	0	0
基礎英語 I	2	9	優	2	8
英会話 I	2	6	可	2	2
国語表現	2	5	不可	0	0
文章作成	2	7	良	2	4
ワードプロセッサ I	1	7	良	1	2
ビジネスリテラシー演習	1	7	良	1	2
ビジネスマナー I	2	7	良	2	4
会計学 I	2	6	可	2	2
簿記実務 I	2	6	可	2	2
情報処理論	2	6	可	2	2
基礎ゼミナール I	1	9	優	1	4
合計	21	80		17	32



# 成績評価とGPA

---

## A

優	11
良	1
可	0
不可	0
合計	12

## B

優	2
良	4
可	4
不可	2
合計	12

科目単位合計	21
修得単位合計	21
GPA	3.286

科目単位合計	21
修得単位合計	17
GPA	1.524

---

# 学生のGPA利用

---

- GPAは、各学期末(セメスター)に配付される成績に記載
  - 学科ごとのGPAの平均値が付記
  - 学習状況を数値で客観的に知る
  - 次の学期(セメスター)の履修計画等に利用
  - 奨学金、学内選考、その他
-

# 課題1: アドバイザー制度

---

- 学習支援が主機能(GPAの利用目的)
  - 各学期の履修計画の確認(よく考えて履修しているか)
  - 選択科目のアドバイス(必須科目よりも選択科目が重要)
  - 卒業までの履修計画(段階的に修正)
  - 修学上の諸問題(退学・休学・留年)助言
-

## 課題2:履修指導

---

- 学期開始までに履修登録(科目登録)
  - アドバイザーより前学期までの成績一覧
  - 成績一覧表(学習履歴のカルテ)
  - 卒業までの暫定的履修予定表の作成
  - 科目登録の調整(アドバイザーとの協議)
  - 成績不良の場合は登録科目数を削減
-

# 課題3：受講単位上限制度

---

- 各学期の標準登録単位の決定
    - ・標準登録単位は22単位
  - 標準登録単位以上の履修は許可制
    - ・資格取得に関係ある場合など
  - 最低登録数の決定(16単位以上)
  - 最高登録数の決定(24単位以下)
-

# 課題4：成績不良学生指導

---

- 出席不良学生の早期指導の徹底
    - ・学生個別指導状況の記録
    - ・退学・休学の防止指導
  - 必修科目の単位不足学生の指導
    - ・退学と休学の予防
    - ・卒業判定（留年予防）
-

# 課題5：厳格な成績評価

---

- 学習評価の方法はシラバスに明記
    - ・レポートで〇%、出席で〇%、試験で〇%
  - 試験問題の作り方
  - 学生に満足感を与える試験問題
  - FDを利用した、試験問題の同僚評価
-

# おわりに

---

- **アドバイザーの立場**
    - ・GPAを利用した学生指導
    - ・アドバイザーと学生との学習履歴の作成
  - **学生の立場**
    - ・履修管理力の育成
    - ・学生による学習履歴のカルテ作成
-